

－ SDGsを考えよう/今、豊洲市場として取り組めることは？ －

水産資源や海洋環境に関するワークショップ

第3回「ごみの減量・リサイクルについて」

《主催》東京魚市場卸協同組合



近年よく耳にするようになった「SDGs」は、21世紀の世界が抱える課題を包括的に挙げて、すべての人が一丸となって達成すべき国際社会共通の目標です。その中には「水産資源」や「海洋環境」に関する課題が含まれており、水産物を取り扱う我々にとっても身近な問題です。

これらをテーマにしたワークショップ（勉強会）の第3回目につきまして、以下の通りご案内致します。参加ご希望の方はぜひお申込みください。

開催日時

令和3年11月5日(金) 12:30~14:30

7街区管理施設棟 1F 講堂

概要

豊洲市場では、日々の業務の中で、多くの産業ゴミが排出されています。その処理方法や処理料金、また環境への対策などが長年の課題となっています。

今回のワークショップでは、その諸問題について改善への取り組みや課題について知って頂くとともに、日常的に使用している発泡スチロールのメーカーからも独自の取り組みをご紹介します。その上で、豊洲市場において取り組める方向性や今後のアクションについて話し合っていきます。

登壇者紹介



(一社)豊洲市場協会 専務理事 大橋 健治 氏

豊洲市場を統括する協会。市場環境やごみ処理問題への対応や豊洲市場の広報活動など、業界を横断して諸問題に取り組む。平成22年度より専務理事に就任。

その他、これまでのごみ処理等に携わった略歴として、

昭和60・61年度、東京都清掃局作業部ごみ減量・再利用担当主査

平成9・10年度、東京都環境保全局地球環境担当課長、その後、平成17~19年度に東京都中央卸売市場市場政策担当部長を歴任する。



トーホー工業株式会社

執行役員・事業開発部 部長(包装管理士) 井林 徹 氏

私たちトーホー工業は、「世の中のあらゆる物」を発泡スチロールで造れないかと考えています。そのため「こんな物が造れないか？」と課題を出してくださるお客様や、「こんな物を一緒に創れないか？」と言ってくださるお客様との出会いを大切にしています。

「SDGs宣言」のもと、環境対策やリサイクルの更なる推進と同時に、「発泡スチロールのリーディングカンパニー」として、発泡スチロールの活躍の場をもっと広げて参ります。

(東卸組合) 副理事長 横田 繁夫、常務理事 宮 昭彦

(卸会社) 築地魚市場(株) 取締役執行役員 関 均 氏

(市場関係) 豊洲市場加工棟使用者協議会 会長 北田 喜之助 氏

(企業) 中村産業(株)、東京魚類容器(株)

(コーディネーター) 株式会社 轍 代表取締役 江口 慎一 氏 (東卸組合アドバイザー)

〔傍聴申込の締切〕 11月1日(月) まで

東卸組合 市場対策・事業保険課 TEL.03-6633-0166

第4回 開催日 11月26日(金) 「未利用魚の活用について」